

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	820100	TEL	2998-9238				
事業コード	「学び創造プラン」学力向上推進事業		学校教育課						
820102	開始年度 平成23年度 → 終了年度 年度		グループ 指導担当						
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加		根拠法令					
	分野別計画・指針			学習指導要領					
	関連・類似事業	確かな学力定着事業							
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 学校教育	基本方針	確かな学力と自立する力の育成				
事業開始の背景	所沢市学び改善プロジェクト委員会において出された「学力向上に向けた3つの提言」を踏まえ、取組を継続・深化していくために、平成23年度から「学び改善プロジェクト推進事業」を開始した。 平成25年度までの学び改善プロジェクト推進事業の成果と課題を生かし、学校・家庭・地域が一体となって「学力向上に向けた3つの目標」を踏まえた取組を継承・深化していくために、平成26年度から事業名称を変更し、新たな取組を開始した。								
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	学校・家庭・地域が一体となり、「学力向上に向けた3つの目標」を踏まえた取組を推進していくことにより、学力の3要素である知識・技能、思考力・判断力・表現力等、意欲・態度を育み、主体的な学びを創造し、「確かな学力」の育成を目指す。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	47 校				
	市内全小・中学校及び保護者・地域 ※対象数は小・中学校数			平成 27 年度	47 校				
	事業の具体的な内容及び実施方法 ○学校：①15校をスタンダード研究校として研究委託を行う。中学校区にて共通目標や共通行動を踏まえた授業研究を行い、家庭・地域と連携しながら学力向上を図る。(小学校9校、中学校6校 *H26年度より3ヶ年で市内全校に研究委託) ②5校をクリエイイト研究校として研究委託を行う。教育センター等の研究を生かした進んだ研究を行い、その研究成果を各校に広めることを目指す。 ③小中連携支援員を3校に配置し、小・中学校の学習内容をコーディネートする。 ○家庭：①「ノーマディア」「早寝・早起き・朝ごはん」チャレンジシートを活用し、家庭での生活習慣見直しの機会を作る。 ②啓発用チラシを保護者に配布し、学力向上に向けた取組について周知を図る。 ○地域：①清掃デーや地域のお祭り等、児童生徒の地域活動への参加を支援する。 ②地域の教育力を活用した取組を増やす。								
④経費	<会計種別>		一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	当初予算			5,292	5,349	5,392			
	決算(見込み含む)			5,260	5,194				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)		(0.00 人) (3.00 人)	(0.00 人) (3.00 人)					
	正規職員人件費		1.15 人	10,029	0.90 人	7,794			
	事業費合計			15,289	12,988				
	財源内訳	一般財源	15,289	12,988	5,392				
		国・県支出金	0	0	0				
		その他()	0	0	0				
⑤実績	項目名		項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	小中連携支援員配置校	配置校数	校	3	3	3	3	
		研究委託校	委託校数	校	21	21	20	21	
⑥成果	項目名		項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	研究委託校における検証結果(研究報告書等から)	研究委託校の取組により、児童生徒の学力又は学習意欲の向上に成果があったと報告された学校の割合	目標値	100	100	100	100	
				実績	100	100	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	↑どちらかをチェックしてください		
⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	3年に1回の見直しを行っている事業のため、平成27年度は特になし。				-				
⑧評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	3年間にわたる研究委託校、小中連携支援員配置校からの成果報告により、さらなる方向性を出し、引き続き、各学校での研究を充実させていくため。				
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	引き続き、研究委託校における授業研究や、小中連携支援員の配置等を、今年度と同様の予算規模で実施していくため。				
⑨評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
	学び創造プランにおける「学力向上に向けた3つの目標と取組」を、学校・家庭・地域が一体となって推進していく。				「学校スタンダード研究校」と「学校クリエイイト研究校」による授業研究や小中連携支援員配置による成果と課題を共有し、次年度以降の取組につなげる。また、この事業の啓発を図る。				
評価日	H28.8.19		評価者職氏名	学校教育課長 塚 俊彦					
⑩環境影響	有益な環境影響				有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙・自動車の使用		規制を受ける環境法令等	無
								緊急事態	無